

第3回検討会議における各委員からの主な意見

- ・ 関係人口をつくるのは大切なことなので、地域に少しだけ関心がある人をどれだけ地域に引っ張ってくるか、というところに、注力してもらえるとよい。
- ・ デジタル技術については、単なる活用だけでなく、実際に地域がよくなって、実装されて、定着するということが大切である。
- ・ 進捗管理指標については、できるだけシンプルで捕捉しやすいものがよく、定義が重要となる。
- ・ 「活動人口」である良い関係人口の創出のためには、シビックプライドが重要である。
- ・ 森林が県民全体の貴重な財産であると位置付けてもらっていることはありがたい。組合としても森林資源を守っていけるよう努めていくので、人材の確保・育成など、バックアップをお願いしたい。
- ・ 地域の食・文化・自然を活用し、地域にお金を落としてもらうことが重要である。
- ・ 中山間地域の振興は、地域の状況を一番知っている市町村が担い、県はそれがスムーズに進むよう支援する体制をとってほしい。
- ・ 県立高校に関して、地域との連携だけでなく、他の地域からも生徒が来てくれるよう、特色のあるものを打ち出すことに力を入れる必要がある。
- ・ 11月に開業する三井アウトレットパーク岡崎については、市東部地区の広域の観光交流拠点として位置付けており、取組次第では山村地域の経済活性化、交流人口・定住人口の拡大に寄与すると考えている。
- ・ 周知やPRの取組については、ターゲットを絞って効果的に情報発信を行うなど、戦略的なマーケティング・プロモーションが必要である
- ・ 農林水産業の担い手確保・育成については、新規就農に関するハードルが上がっている中、新規就農者への補助などの支援も必要である。
- ・ 田口高校や足助高校については、他にない独自性を持った教育をイメージできるような記載があるとよい。

- ・ 情報通信基盤の整備は、住民の暮らしの利便性向上だけでなく、移住・定住にもつながり、大きな効果が期待できる。
- ・ むらし続けられる地域をつくるためには、公共交通だけでなく、いろいろな暮らしのサービスが必要になると思うので、幅広く読めるように記載してもらえるとよい。
- ・ 全体の構成及びビジョンの名称については、全委員の賛同を得られた。
- ・ 愛知県の特性として、企業が集積しているエリアであることから、全県的な企業が山村地域とどのように関わっていくかが重要である。
- ・ 北設楽郡については、三遠南信自動車道の開通によって、県境を越えた連携が期待できる。